

■食行身禄 宗教家。現世利益から万民救済へ発展させた富士講中興の祖。享保の大飢饉に自ら人身御供となって没。

じきぎょうみろく

・ ・ ・ ・ ・ 1671＝ 伊勢国一志郡川上村で、農家小林家の三男に生まれる。

藤十郎登場・1678＝ 7歳：口減らしのため、親戚の大和国宇陀郡の小林家に養子に出されるが、
越後騒動・ ・ 1679＝ 8歳：
徳川綱吉將軍1680＝ 9歳：
天下一禁止・1681＝10歳：耐えかねて、実家に戻る。

八百屋お七・1683＝12歳：伊勢商人の溢れる江戸に出され、神田で呉服商兼雜貨商を営む富山家に奉公、
堀田正俊暗殺1684＝13歳：
のち、_独立して茶袋・灯心などの行商をし、やがて駒込に店を借りて油の担い売りを始める間、

生類憐令始・1687＝16歳：_伊勢松阪出身の日本橋の富士行者月行膾仲と知り合い、入門。
日本永代蔵・1688＝17歳：*初登山したらしく、のち、この年をみろくの世の始まりとする。
・ ・ ・ ・ ・ 1689＝18歳：

_家業に励んで財を成すとともに、修行にも努めて食行の名を与えられ、信仰を深めて行く。

生類憐令頂点1695＝24歳：
重秀勘定奉行1696＝25歳：*仙元大菩薩からお告げを受ける。

吉保大老格・1698＝27歳：
・ ・ ・ ・ ・ 1699＝28歳：_この頃から、開宗を意識し始めたらしく、

赤穂浪士討入1702＝31歳：この年までには、結婚もしていたらしい。

富士宝永噴火1707＝36歳：

徳川綱吉没・1709＝38歳：

絵島事件・ ・ 1714＝43歳：長女が誕生(師月行の娘を養女にした説も)。

徳川吉宗將軍1716＝45歳：
隅田川の桜・1717＝46歳：次女が誕生。*師月行が死去したため、跡を継ぎ、食行身禄と名乗る。

近松没・ ・ ・ 1724＝53歳：三女が誕生。
・ ・ ・ ・ ・ 1725＝54歳：江戸大火で、自宅が類焼し転居。

_仙元信仰が異教視・邪教視されて庶民のなかに浸透しないことに心を悩まし、

梅岩心学始・1729＝58歳：_教典「一字不説の巻」を完成して講中に公開、
・ ・ ・ ・ ・ 1730＝59歳：_富士山頂で仙元大菩薩にまみえ、8年間苦行して入定することを決意、下山して家財一切を縁者に分配、乞食身禄などと蔑まれながら、熱狂的な布教活動を展開、
・ ・ ・ ・ ・ 1731＝60歳：_自宅前に高札を掲げ、"身禄(弥勒)の御世"到来を告げるが、
享保大飢饉・1732＝61歳：_自宅が火災で焼失、大飢饉となり、
・ ・ ・ ・ ・ 1733＝62歳：*江戸最初の大規模な打毀し(高間騒動)が起きると、社会の腐敗を批判し信徒に生活規律の樹立を求める「御添え書の巻」を執筆、自らの予定を早めて断食入定を開始、付き添った弟子に毎日教義を口述し、教典「三十一日の御伝え」を遺して、没した。以後、富士講とくに身禄派の信徒が急速に増大した。